

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】令和1年10月17日(2019.10.17)

【公表番号】特表2018-527030(P2018-527030A)

【公表日】平成30年9月20日(2018.9.20)

【年通号数】公開・登録公報2018-036

【出願番号】特願2018-534009(P2018-534009)

【国際特許分類】

C 1 2 N	15/12	(2006.01)
C 0 7 K	14/47	(2006.01)
C 1 2 N	15/63	(2006.01)
C 1 2 N	1/15	(2006.01)
C 1 2 N	1/19	(2006.01)
C 1 2 N	1/21	(2006.01)
C 1 2 N	5/10	(2006.01)
C 1 2 P	21/02	(2006.01)
A 6 1 K	38/17	(2006.01)
A 6 1 K	9/127	(2006.01)
A 6 1 K	47/18	(2006.01)
A 6 1 P	19/00	(2006.01)
A 6 1 P	19/02	(2006.01)

【F I】

C 1 2 N	15/12	
C 0 7 K	14/47	Z N A
C 1 2 N	15/63	Z
C 1 2 N	1/15	
C 1 2 N	1/19	
C 1 2 N	1/21	
C 1 2 N	5/10	
C 1 2 P	21/02	C
A 6 1 K	38/17	
A 6 1 K	9/127	
A 6 1 K	47/18	
A 6 1 P	19/00	
A 6 1 P	19/02	

【手続補正書】

【提出日】令和1年9月3日(2019.9.3)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

a) そのC末端に切断部位を含むプレ配列であって、そのN末端にアミノ酸M A T T X 1 T、M A T T X 1 T G、M A T T X 1 T G N、M A T T X 1 T G N S またはM A T T X 1 T G N S A を含み、X 1は、LまたはSであるプレ配列と、

b) C D - R A P またはその多様体であって、該多様体が配列番号1の配列に対して

少なくとも 95 % の配列同一性を有する、CD-RAP またはその多様体とを含む、CD-RAP 前駆体タンパク質。

【請求項 2】

前記

```
前記
```

プレ配列は、その N 末端にアミノ酸 M A T T S T 、 M A T T S T G 、 M A T T S T G N 、 M A T T S T G N S もしくは M A T T S T G N S A またはそれらの多様体を含む、請求項 1 に記載の CD-RAP 前駆体タンパク質。

【請求項 3】

前記

```
前記
```

プレ配列は、5 ~ 50 のアミノ酸の長さを有し、特に 6 ~ 35 のアミノ酸の長さを有する、請求項 1 または 2 に記載の CD-RAP 前駆体タンパク質。

【請求項 4】

前記前駆体タンパク質は、K y t e および D o o l i t t l e によるハイドロペプチダーゼの総平均 (G R A V Y) - 0.03 未満を有し、かつ / または前記

```
前記
```

プレ配列は、K y t e および D o o l i t t l e によるハイドロペプチダーゼの総平均 (G R A V Y) - 0.2 未満を有する、請求項 1 から 3 までのいずれか 1 項に記載の CD-RAP 前駆体タンパク質。

【請求項 5】

前記切断部位は、酵素切断部位であり、特にエンドペプチダーゼ切断部位であり、特にエンテロキナーゼ切断部位であるか、または混合求核体スーパーファミリー A (P A c l a n) プロテアーゼ切断部位であり、特に R アミノ酸または K アミノ酸である、請求項 1 から 4 までのいずれか 1 項に記載の CD-RAP 前駆体タンパク質。

【請求項 6】

前記エンドペプチダーゼは、システインプロテアーゼおよびセリンプロテアーゼからなる群から選択され、好ましくはトリプシンまたはキモトリプシンであり、より好ましくはトリプシンである、請求項 5 に記載の CD-RAP 前駆体タンパク質。

【請求項 7】

前記

```
前記
```

プレ配列は、配列番号 2 、配列番号 3 、配列番号 4 、配列番号 5 、配列番号 6 、配列番号 7 、配列番号 8 、配列番号 9 、配列番号 10 、配列番号 11 、配列番号 12 、配列番号 13 、配列番号 14 、配列番号 15 、配列番号 16 、配列番号 17 、配列番号 18 、配列番号 19 からなる群から選択されるアミノ酸配列もしくはその多様体を含むか、または該アミノ酸配列もしくはその多様体からなる、請求項 1 から 6 までのいずれか 1 項に記載の CD-RAP 前駆体タンパク質。

【請求項 8】

前記前駆体タンパク質は、配列番号 20 によるアミノ酸配列もしくはその多様体を含むか、または該アミノ酸配列もしくはその多様体からなる、請求項 1 から 7 までのいずれか 1 項に記載の CD-RAP 前駆体タンパク質。

【請求項 9】

請求項 1 から 8 までのいずれか 1 項に記載の前駆体 CD-RAP タンパク質をコードする核酸。

【請求項 10】

請求項 9 に記載の核酸を含有するベクター。

【請求項 11】

請求項 1 から 8 までのいずれか 1 項に記載の前駆体 CD-RAP タンパク質、請求項 9 に記載の核酸または請求項 10 に記載のベクターを含む、宿主細胞。

【請求項 12】

ネイティブ CD-RAP の製造方法であって、

a) 請求項 1 から 8 までのいずれか 1 項に記載の CD-RAP 前駆体タンパク質を提供するステップと、

b) 前記

```
前記
```

プレ配列を除去してネイティブ CD-RAP を取得するステップとを含む方法。

【請求項 13】

以下：

c) 前記 C D - R A P 前駆体タンパク質のフォールディングを行い、適宜、前記フォールディング済みの C D - R A P を精製するステップと、

d) 前記ネイティブ C D - R A P を精製するステップと
のうちの 1 つまたは複数をさらに含む、請求項 1 2 に記載の方法。

【請求項 1 4】

ステップ b) において前記プレ配列を除去する前かまたはその後に、特にステップ b) において前記プレ配列を除去する前に、ステップ c) において C D - R A P のフォールディングを行う、請求項 1 2 または 1 3 に記載の方法。

【請求項 1 5】

ステップ b) において、前記プレ配列を、酵素による切斷によって除去し、特にエンテロキナーゼによる切斷によって、またはエンドペプチダーゼによる切斷によって、特にトリプシンによる切斷によって除去する、請求項 1 2 から 1 4 までのいずれか 1 項に記載の方法。